

令和2年度エゾシカ対策事業（案）

釧路湿原生態系維持回復事業計画（第1期）に基づき、令和2年度は以下の事業を実施する予定。

1. 捕獲

引き続き、右岸堤防地区（実施地区）での捕獲及び効果検証を実施する予定。

その他の実施地区（達古武）及び候補地区（コッタロ）においては、今年度のロードセンサスや自動撮影カメラによるモニタリングや捕獲手法の検討等の結果を基に、捕獲実施を検討する。

2. 調査

（1）植生

①植生調査

湿地林（8地区）において調査を実施し、湿地林の植生指標種（案）を選定する予定。

②簡易調査（採食圧調査）

高層湿原・低層湿原・湿地林・広葉樹林（全10地区）において食痕指標種を用いて調査を実施する予定。

③冬期痕跡調査に関する検討等

これまでの調査結果の取りまとめを基に、この調査の目的や調査方法等を再検討し、必要に応じて調査を実施する予定。

（2）エゾシカ生息状況

航空カウント調査を実施する予定。

*推進費事業と実施時期を合わせると2021年2月に実施予定。

3. 検討会議

「令和2年度釧路湿原エゾシカ対策検討会議」を開催する予定。

例年同様に、捕獲及び調査の結果等について報告しつつ、事業目標の設定や次年度以降の事業内容について議論する。

また、次期計画の策定に向けた、本計画の評価及び見直し期間となる令和3年度のスケジュールについて確認する。